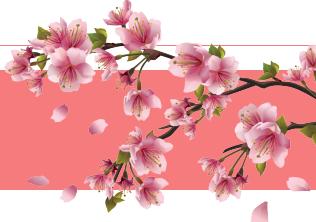


PROGRAM NOTE

2020年3月



Winter SWL Fest 2020 レポート 日本短波クラブ理事 大武逞伯



今年も2月27日から3日間ペンシルバニア州で開かれたので日本短波クラブを代表して出席してきました。初日に一番人気があったのは、「北朝鮮の放送事情」を取り材されたオーストラリアの方の画像を交えた貴重なレポートで中国側の国境でモニターされたのですが、5年前にもBehind the Curtain(カーテンの彼方)という題で報告書が出されました。

日本短波クラブの活動を紹介するために、私はクラブの創立以来の記念カードを整理し直して一番古い1956年から2020年までの実物のカードをズラリと壁に貼り出しました。また、テーブルには会誌「SW・DX GUIDE」を並べて置いたところ全部売り切れてしまいました。

今年の大会で私がいちばん興味をひかれたのは最近流行り始めているSDR(コンピューター制御)の受信機でした。すでにかなり小型のものも出始めているので、それをモバイル(移動化)的にDXするために小型にループアンテナをセットして、自由自在に持ちあるきながら楽しみましょうと提案をした人がいましたが、将来への方向性としてみんな頷いていました。

カナダから出席されたジェニス・ロウさんという女性の方は10代の頃に父親から短波ラジオを買ってもらい、その頃から海外放送を聞き始め、そのうち世界の国々に興味を惹かれ、ついに自分で取材に出かける仕事についていたと話しておられました。BCLで外の世界に目が開かれたテーンエイジャー、しかも女性の方が北米にもおられてうれしかったです。

インドネシアの「バリ島」に自分で放送局を作ったオーストラリア人の話は愉快でした。DXingのために張り切って島に上陸したところ中波の放送が全く入らず調べてみると「放送局」が皆無。それなら自分で放送をしようと住民の人と親しくなって家を建て、島に放送局を作ってしまったのです。今や、インドネシアでは放送局としてはNo.3の人気局として地元に密着した24時間放送をしているとのことでした。

なお、会場で次の方々にインタビューさせていただきました。放送日は次の通りです。ぜひお楽しみください。

3月14日 キム・エリオット ゲスト・スピーカー
リチャード・ディアンジェロ NASWA会長
リチャード・カフ FEST幹事

3月21日 ジョン・フィグオリッツイ FEST幹事
ダン・ロビンソン(元VOA特派員)

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 每週土曜日放送		淀橋教会 峰野龍弘主管牧師 每週日曜日放送	
3月07日	SWL Fest 2020 大会報告 大武逞伯	3月08日	旧約聖書 創世記 (8)
3月14日	SWL Fest であった人々(1) 大武逞伯	3月15日	リスナーからの「お便り交換の時間」
3月21日	SWL Fest であった人々(2) 大武逞伯	3月22日	旧約聖書 創世記 (9)
3月28日	サボテン日記(第8回) 小畑いよこ	3月29日	旧約聖書 創世記 (10)

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz (再放送) 午後8時～8時30分 15565kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

